



NEWS RELEASE

2005年1月7日

株式会社アマダ

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200

TEL:0463-96-3105 FAX:0463-94-9781

URL:<http://www.amada.co.jp>

米 ミンスター社とプレス機械で業務提携 年間 50 台を供給

アマダ（社長 岡本 満夫）、アマダプレステック（社長 堀江 喜美雄）、アマダアメリカ（社長 上村 勝巳）のアマダグループ 3 社は、アメリカのプレス機械メーカーであるミンスター・マシン・カンパニー（社長 ジョン・j・ウィンチ氏）の要請を受け、年間 50 台の中・小型汎用プレス機械を供給することで合意、7 日、伊勢原市のアマダ本社で業務提携契約に調印した。テリトリーは北米、カナダ、それにメキシコの 3 カ国。供給量は 3 年後、150 台に達する見込みで、これが実現するとアマダのプレス機械は、北米という大市場で一躍注目を集めることになる。一方、ミンスター社は有力ユーザーが計画する板金加工機械の設備投資に関する情報をアマダに提供する取り決めとなっており、これを当社は全米の営業活動に役立て、あらためてレーザーマシン、プレスブレーキ、パンチングマシンなど板金加工機械の拡販に取り組む。

アマダ及びアマダプレステックが供給するのは加圧力が 45 トンから 500 トンまでの C 型フレームの機械で、クランクモーションプレスとリンクモーションプレスの 2 タイプ。クランクモーションプレスは加圧力 200 トンの「TP-200EX」など 12 機種、またリンクモーションプレスは加圧力 200 トンの「TPL200」など 12 機種、合わせて 24 機種が対象となる。

このうちクランクモーションプレスは、わが国プレス機械の歴史をつくってきたもので、40 年間で 5 万 4000 台の納入実績を持つ。生産性が高く、しかも金型の長寿命化を実現したマシン。一方のアマダリンクモーションプレスはアマダ独自のリンク機構により精密打ち抜き加工、高エネルギー成形加工※が可能であり、生産性をクランクモーションプレスより約 1.5 倍に高めたうえ低騒音、低振動を達成したマシンである。

両機種とも自動車小物部品、電機・電子部品、建築部品、など幅広い分野で小型製品の加工に用いられており、ミンスター社はこうしたアマダの実績と商品の信頼性に着目、供給を求めてきたもので、両社の商品が競合関係になく、むしろ補完できる機種構成であることから提携が一挙に具体化した。

ミンスター社は 1896 年創業という歴史のある企業。オハイオ州ミンスター市に本社を置き、従業員は 450 名。その精度と信頼性において高く評価され、世界屈指の機械式プレスメーカーである。

アマダグループは国内外で板金加工機械とプレス機械の販売を行っているが、創業以来、自社の社員が販売する直販方式を採用してきており、今回の北米におけるミンスター社とのプレスの販売提携は外部企業に販売サービスをゆだねる初のケース。

ミンスター社は全米の機械業界に数多くの顧客を抱えており、ミンスターの販売網、情報力を活用することで、プレス機械以外の板金加工機械の新たなユーザーの開拓も可能。これが北米市場における業績の向上に大きな力となることは確実で、今後、両社間の結びつきを強めていく考えだ。

なお、この提携はアマダアメリカが、アマダのプレス機械の生産販売を担うアマダプレステックとアマダの協力を得て進めてきたもので、契約の主体はアマダアメリカ。

※ 高エネルギー成形加工＝絞り加工等製品高さが高い成形加工（携帯電池ケース、デジカメボディなど）またコインなどの表面の面押し、正確な厚みを得る圧縮加工。

本件に関するお問い合わせ先

(株)アマダ秘書室広報グループ

電話 0463-96-3105